

包 拯 臉 譜 考

——包拯の眉はなぜ曲がったか——

加 藤 徹

広島大学総合科学部

包拯臉譜考

— 包拯の眉はなぜ曲がったか —

加藤 徹

はじめに

宋代に実在した人物である包拯^{ほうじょう}（999—1055）が、死後、次第に伝説化され、戯曲・小説の世界で活躍するようになったことは、周知のとおりである。現在、中国には約三百種にのぼる地方劇が存在するが、現行各地方劇に於いても「包公戲」（包拯もの）は大きな比率を占めている。中国戯曲史上、包拯ほど広範囲にわたり、かつ息長く取り上げられてきたキャラクターは、珍しいと言わねばならない。

注目すべきは、各地方劇における包公戲の演目が、それぞれ、時代差や地域差を反映した豊富なヴァリエーションを有することである。包公戲の演目について、それぞれの演変史を吟味し、各々のヴァリエーションを生ぜしめるに至った要因を考察することで、中国戯曲演劇研究に新しい知見を付け加えることができるものと期待される。

筆者は従来、戯曲研究と演劇研究の両面から包公戲へのアプローチを試みてきた。しかし、歴史も長く分布も広い各地の包公戲の全貌を明らかにできるまで、前途遼遠の感を禁じえない。

そこで今回は、包公戲研究の中間報告として、各地方劇に於ける包拯の「^{れんぶ}臉譜」（隈取り）を取り上げることにしたい。そして、

- ①演変の検討：歴史的に見て、包拯臉譜はどのように変化してきたか。
- ②変型の整理：現存各地方劇において、どのようなヴァリエーションが存在するか。
- ③要因の検討：上記①②のような結果をもたらした要因は何か。

の三点にポイントを置き、考察を加えることにする。

一 包拯臉譜の基本的な特徴

包拯臉譜は時代ごと、地域ごとに、実に多種多様な変型が存在する。

筆者は次節で、各地方劇の包拯臉譜を概観し、特徴を整理することにした。本節では、次節での作業を能率よく進めるための下拵えとして、まず代表的な包拯臉譜を取り上げてその基本的特徴を確認し、各地の臉譜を概観する際の着眼点を決めることにする。

代表的臉譜として、①明清古臉譜、②京劇臉譜、を取り上げる。

〔①明清古臉譜〕

包公戲は、すでに元雜劇に於いて人気演目であったが、当時、舞台上の包拯（を演ずる役者）がどのような化粧をしていたかを直接に描いた資料は未発見である（注1）。現在、我々が見ることのできる最古の包拯臉譜は明代のもので（図1）、次いで清初^{よくようこう}の弋陽腔のものである（図2）。



図1 「梅氏綴玉軒藏明代臉譜」
『中国戯曲通史』より



図2 「梅氏綴玉軒藏清初臉譜（弋）」
『中国戯曲通史』より

この両者は、後世の各地方劇のヴァリエーションの基本型となったと考えられる。ともに黒い地塗りの上に、白い眉を描いた簡素な臉譜である。鼻の下には長い髭を付けていたに違いない（注2）。

顔が黒いのは、臉譜の約束ごとで、正義漢であることを示す（注3）。眉が白いのは、地塗りの黒との対比色だからで、老人を意味する訳ではない。眉の形状が直線的な急角度であるのは、俗に「鉄面無私」と形容された彼の剛直不阿な性格を示す。

〔②京劇臉譜〕

京劇は中国を代表する有力な劇種であり、その分布は全国に及ぶ。こと包公戲に関して言えば、1950年代から60年代前半にかけて、中国共産党が京劇「秦香蓮」を「人民の反封建闘争を描いた名作」として推奨したため、各地方劇に於いて京劇系を模範に脚本・演出を改編する作業が行われた。現在、各地方劇の包公戲を検討するにあたっては、このような政治的経緯があったことを考慮に入れ、慎重に資料を吟味する必要がある。

京劇包拯臉譜の古形は、眉を広く描き、額に上が欠けた月牙（三日月）を描いた簡素なものであった（図3）。月牙は傷痕ではなく、包拯が、昼は人間界の訴訟を処理し夜は幽冥界の裁判を行う、という超自然的能力を持つことを示す象徴的符号である。現行の京劇包拯臉譜は、眉の形状が狭くなり、湾曲するようになっている（図4）。



図3 「楊柳青戯曲年画」
演目は「打竜袍」
『中国戯曲音楽集成・天津』より

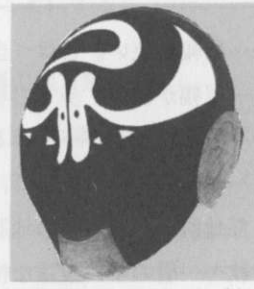


図4 現行の京劇
包拯臉譜
『京劇臉譜図説』より

〔包拯臉譜のポイント〕

以上の概観から明らかなように、包拯臉譜の場合、各ヴァリエーションの個性は

A. 眉の形状

B. 額の紋様の形状

に、最もよく表れている。そこで、以下、眉の形状と額の紋様を主なチェック・ポイントとしつつ現存各地方劇の包拯臉譜を概観してゆくことにしたい。

ただし、スペースの都合上、全ての臉譜資料について図版の転写は不可能である。そこで、取り上げる包拯臉譜資料を主要なものに限定し、かつ、それぞれの特徴を下記の「記述スタイル」の要領で簡潔にまとめることにする。図版の紹介は、最少限にとどめる。

〔記述のスタイル〕

各地の包拯臉譜ごとに「①分布地域②劇種名③眉の特徴④額の紋様⑤（もしあれば特記事項）⑥…『出典』」の順に列記する。特に「③眉の特徴」に関しては、

狭……眉幅が狭い。目は（当然のことながら）眉の下にある。
 寛……眉幅が広い。多くの場合、目が「眉」の中に入っている。
 皺……眉間に皺が寄っている。
 吊……直線的に吊り上がり、眉間の皺は無いが、かすかである。
 眼下部地肌……目の下の地肌が見えるよう、故意の塗り残しがある。
 眉中紋……眉の中に複雑な模様が描いてある。

また「④額の紋様」に関しては、

黒地……模様が無く、黒い地塗りのまま。
 上欠月牙……上が欠けた「三日月」。他に下欠、右欠、左欠がある。

太極図……「易」の太極図ないしそれに近い図形。
 紅円……赤い丸。

などと表現することにする。

ちなみに、以上の約束事によって上掲各臉譜の眉と額の特徴を記述すると、

明（図1）：寛吊眉、黒地
 清（図2）：狭吊眉、黒地
 清（図3）：寛吊眉、上欠月牙
 現行（図4）：狭皺眉、左欠月牙

のようになる。

二 各地の包拯臉譜概観

便宜的に以下の五地域に分けて概観することにする。

1. 東北地方——新興の地方劇

東北の地方劇の歴史は浅い。この地域では、中華人民共和国成立後、政府の強力な挺入れで半ば人為的に地方劇が成立させられた。そんな歴史背景を受けて、この地域の包拯臉譜は、

黒竜江・拉場戲：狭皺眉、額に左欠月牙、京劇同様
 …「包公陪情」『中国戯曲志・黒竜江』
 吉林・吉劇：狭皺眉、額に左欠月牙、京劇同様…『中国戯曲志・吉林』

のように完全に京劇系である。

2. 河北・河南・安徽——京劇と地理的・歴史的に深い関連を持つ地域

京劇の本場である北京と地理的にも近いこの地域の包拯臉譜は、

河北・懷調：疑似寛吊眉，額に左上欠月牙，眼周圍地肌，前掲「楊柳青戲曲年画」と酷似 …「転陽壺」『中国戯曲志・河北』

河北・河北梆子：狭皺眉，額に左欠月牙，京劇同様

…「秦香蓮」『中国戯曲志・天津』

河北・饒河戲：寛皺眉，額に紅円…『中国民間美術全集11』

河南・豫劇：狭皺眉，額に右欠月牙，京劇同様

…李斯忠飾「打鑾駕」『群芳譜』

安徽・徽劇：狭皺眉，額に紅円，京劇酷似

…「斬包勉」『中国戯曲志・安徽』

など，おおむね造形は京劇系である。河北・懷調の包拯臉譜（図5）が清代の面影を残すのは，民俗学のいわゆる周囲論の現象の一例として，興味深い。



図 5

3. 陝西・山西——地方劇の宝庫，梆子系地方劇の故地。

陝西の包拯臉譜は、

陝西・陝西社火：狭皺眉，額に上欠月牙…『中国陝西社火臉譜』

陝西・秦腔1：急角度狭皺眉，額に白円内上欠月牙

…伝世粉本『中国民間美術全集11』

陝西・秦腔2：狭皺眉，額に左上欠月牙，白頬

…『中国戯曲志・陝西』

陝西・秦腔3：狭皺眉，額に上欠月牙…『中国戯曲曲芸詞典』

陝西・秦腔4：狭皺眉，額に上欠月牙

…辛新民飾「鋼美案」『中国戯曲志・新疆』

のように，造形の基本は京劇と同系であるが，全体として陝西らしい精悍で荒々しい印象を湛えている。特に「秦腔1」伝世粉本はそうである（図6）。また黒を基本色とする包拯臉譜にあって，白い「秦腔2」は全国唯一の珍しい例外である。

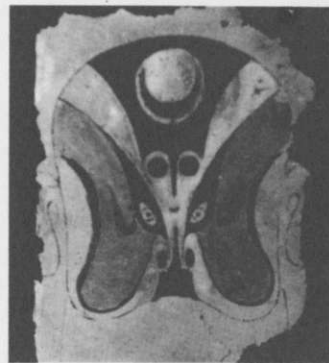


図 6

次に山西系を見ると、

山西・晋劇：狭皺眉，額に左欠月牙，京劇同様

…楊盛鵬飾「秦香蓮」『中国戯曲志・内蒙古』

山西・上党梆子1：寛皺眉，額に左卷白渦

…「司馬庄」『山西戯曲臉譜』

山西・上党梆子2：寛皺眉，額に左卷白渦

…「^マ靈堂記」『中国民間美術全集11』

山西・上党梆子3：疑似寛皺眉（眼下部地肌），額に左巻白渦

…『中国戯曲劇種大辞典』

山西・上党梆子4：疑似寛皺眉（眼下部地肌），額に左巻白渦

…『中国戯曲志・山西』

山西・上党落子：狭吊眉，額に右巻白渦

…「^マ靈堂計」『山西戯曲臉譜』

山西・北路梆子1：狭皺眉，額に右上欠月牙

…「明公断」『山西戯曲臉譜』

山西・北路梆子2：寛皺眉，額に右上欠月牙

…『中国戯曲劇種大辞典』

山西・中路梆子1：狭皺眉，額に右欠月牙，京劇同様

…「明公断」『山西戯曲臉譜』

山西・中路梆子2：狭皺眉，額に上欠月牙

…「明公断」『山西戯曲臉譜』

山西・中路梆子3：狭皺眉，額に右欠月牙，京劇同様

…『中国戯曲劇種大辞典』

山西・蒲州梆子1：寛皺眉，額に白円内上欠月牙

…「清代臉譜」『山西戯曲臉譜』

山西・蒲州梆子2：狭皺眉，額に上欠月牙

…「明公断」『山西戯曲臉譜』

山西・蒲州梆子3：狭皺眉，額に上欠月牙

…「下陳州」『山西戯曲臉譜』

のように、京劇系の造形の中にも、注目すべき特徴が散見される。

例えば、額に白い渦巻き紋様があるのは、全国でも上党梆子および上党落子のみの特徴である。粵劇などに見られる太極図の変化したもの、と解釈することも不可能ではないが、近縁の劇種がおしなべて月牙である事を

考えれば、この白渦は、月牙の湾曲が極度に発達した結果の意匠と捉えるべきであろう（図7）。

また狭皺眉が大半を占める中で、「清代臉譜」である「蒲州梆子1」が寛皺眉であることは、ここでも「狭」より「寛」の方が古形であることを示す（図8）。

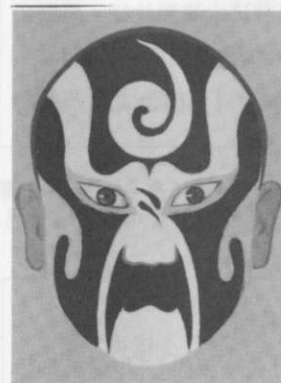


図7 上党梆子2



図8

4. 江西・湖南・四川——長江流域

この地域の包拯臉譜は、異色ぞろいである。

江西・宜黄戲：寛腫眉，額に紅円
…『中国民間美術全集11』

は、吊眉でも皺眉でもない独特な眉である
(図9)。次に、



図 9

湖南・湘劇1：狭吊眉，額上部に紅円・額左右に水滴型紋様・眉間に
白円「日」字…「双釘案」『中国戯曲劇種大辞典』
湖南・湘劇2：(上掲「湘劇1」の拡大写真)…『中国戯曲志・湖南』

は、額に月ならぬ「日」を載せる点で特異である(片頬になら、後出の蒲
仙戯の例もある)。また、

四川・川劇：狭皺眉・眉中紋，額に左右非相称図形
…「長亭鏢侄」『川劇詞典』

は眉の中に花薬状の紋様を描き，額の図形もユニークである。

5. 福建・広東・広西・雲南——南中国一帯

この地域は、北京から遠いだけあって、地方色が濃い。福建系でも、

福建・閩劇：狭皺眉，額に左欠月牙…『中国戯曲志・福建』
福建・梨園戯：狭皺眉，額に疑似上欠月牙(円中円)
…『中国戯曲志・福建』
福建・閩西漢劇：疑似寛皺眉，額に日出海，眼下部地肌
…『中国戯曲志・福建』

などはまだ基本的造形が京劇に近いが、

福建・蒲仙戯1：狭吊眉，額に紅円，右眉内四星・左眉内三星星座紋，
左頬「日」右頬「月」文字…「仁宗認母」『中国民間
美術全集11』
福建・蒲仙戯2：狭吊眉，額に紅円，各眉内五星座紋，右頬「日？」
左頬「月」文字…『中国戯曲志・福建』

となると、かなり異色である(図10)。

眉内に星座が描いてあるという特徴は、

広東・粵劇1：寛吊眉，額に太極図，眉内紋様
…「鏢美案」『中国戯曲劇種大辞典』
広東・粵劇2：寛吊眉，額に太極図，左眉内七星図，右眉内「月」古体字
…『中国戯曲曲芸詞典』
広東・粵劇3：寛吊眉，額に太極図，左眉内「月」古体字，右眉内七星図
…『中国戯曲志・広東』
広東・正字戯：寛吊眉，額に上欠月牙…『中国戯曲志・広東』



図10 蒲仙戯 1



図11 粵劇 2

と共通である（ただし星の数は違う）。粵劇で額に太極図を描くのは、

広西・桂劇：疑似寛吊眉，額に太極図，眼下部地肌

…「秦香蓮」『中国戯曲志・広西』

に類例があるとはいえ、かなり珍しい。少数民族の演劇である

雲南・白劇吹吹腔：狭吊眉，額に左巻白渦？

…『中国民間美術全集11』

は横顔であるため、額の紋様が渦巻きなのか、上欠月牙と小白円の合成か、判然としないのが残念である。

三 各地の包拯臉譜概観まとめ

包拯臉譜の各ヴァリエーションを検討した結果をまとめると、以下のようになる。

〔A. 眉の形状〕

「皺」より「吊」が、「狭」より「寛」が、より古い形である。現行包拯臉譜は京劇系の狭皺眉が主流であるが、古い形である寛吊眉も、河北・懷調や広東・粵劇など地方に残っている。

〔B. 額の紋様〕

明代および清初までは、黒い地塗のままで紋様を描かなかった。しかし後になり、包拯が昼は人間を、夜は幽鬼を裁く超自然的能力の持ち主であることを示す象徴的符号が描かれるようになった。額の紋様の種類は、

①夜を示す月牙（および変型としての白渦）

……京劇，山西・陝西など北方の諸劇を中心に，全国に分布

②単純な紅円……徽劇，宜黄戯，湘劇など華中を中心に分布

③陰陽の原理を象徴する太極図……粵劇，桂劇など中国南辺に分布

④その他の紋様……川劇など一部劇種に散見

と様々であるが、主流はやはり京劇系の月牙である。

ちなみに、現行臉譜では月牙の向きは上下左右と恣意的であるが、古臉譜の資料を見ると、上が欠けて抉れた形の上欠月牙が古形のようなのである。

〔A, Bのまとめ〕

絶対年代は考証すべくも無いが、眉と額の紋様の分布から考えると、まず、額に紋様を描くという演出が各地で別個に発生したあと、北方に於いて眉が曲がり初めた、という順序を想定するのが適切であろう。

狭皺眉——包拯の「苦悩」の表情を突出させた臉譜は、おそらく清代後期、北中国の地方劇で始まった新しい演出である。ただし、寛吊眉——包拯の「剛直不阿」という性格を突出させた古い形の臉譜も、南方を中心に生き残っている。

いま仮に前者を「苦悩臉」、後者を「剛直臉」と命名するなら、近世から現代に至るまでの包公戯の歴史は、北方の「苦悩臉」が全国に拡大し、

前代からの「剛直臉」を圧倒してゆく歴史であった、と要約できる。

四 むすび——包拯の眉はなぜ曲がったか

臉譜は、その人物の本質的性格を描写するための演出である。包拯の眉が、北方の地方劇を中心に急速に曲がったことは、とりもなおさず、包拯の基本性格に「苦悩」という新要素が加わった事実を示す。

「剛直不阿」の旧来の包拯は、本来、決断と実行あるのみで、悩みや迷いからは縁遠い人物のようであった。実際、清初までの彼の顔は一貫して「剛直臉」だった。ところが、清朝が終りに近づくにつれ、彼の顔は急速に「苦悩臉」に変化してしまった。一体、何が起こったのであろう。

ふりかえれば、戯曲・小説界に於ける包拯像は、宋代に実在した人物としての包拯を基本に置いているとはいえ、ずいぶんダイナミックに変化してきた。元雜劇に於ける包拯の人物設定は、必ずしも有能な裁判官ではないが、超自然的能力を保持するがゆえに難事件を解決する人物、というものであった(注4)。また明代の公案小説で活躍する包拯は、旧来の超人的能力を保持しつつも、「剛直不阿」の「包鉄面」という清官としての顔が、より強調される傾向があった。

筆者が思うに、清代地方劇に於いては、旧来の人物設定の上に、さらに「苦悩」という基本性格が付加された。清末の包拯は、清官であるがゆえに「民」と「官」、「公」と「私」の板挟みになって苦しむという宿命を、観衆から課せられたのではないか。その苦悩は、清朝の膝元である北方で、かつ「官」の建て前と本音の矛盾が急速に尖鋭化した清末に於いて最も著しかったことが、各地の包拯臉譜の比較検討の結果から読み取れる(注5)。

包拯の「苦悩臉」は、実は、近世末期、崩壊寸前の前近代社会体制のもとで、本音と建て前の矛盾に呻吟していた当時の民衆自身の顔の投影に他ならなかったのである。

* * *

包公戯も含め、中国近世の地方劇は、一般民衆に密着した演劇だった。

その演目も、他の伝統的な文芸ジャンルでは表現しえなかった民衆の本音を反映した作品が多い。が、地方劇の特長である大衆性が災いし、従来、地方劇脚本を戯曲作品として取り上げた学術研究はまれであった。近世の包公戯に関しても、先行研究は意外に乏しく、今後の総合的研究が待たれている。

筆者は本来、脚本分析など戯曲研究を専攻する者であるが、今回は包公戯研究の中間報告として、あえて演劇研究の考察を試みた次第である。

〔註〕

注1：王小明『国劇臉譜概論』（台湾莒光図書中心、中華民國69年）には「元朝人員臉譜」として、「梅氏綴玉軒藏明代臉譜」と同様の包拯臉譜を載せるが、典拠は不明。

注2：包拯に限らず、臉譜図では、たとえ髭を付ける役でも髭を描かぬのが慣例。

注3：ちなみに、白い顔は悪役のしるしで、例えば京劇の曹操や司馬懿の顔は真っ白である。白黒の関係が一見反対のようであるが、舞台上での演出効果を考えると、非人間的なほど白い顔は「巧言令色」タイプの悪役にふさわしい。逆に包拯のような清廉で真面目な役人は、庶民のため現場を駆け回り、日焼けと土埃で黒い顔をしているのが自然である。

注4：岩城秀夫「元の裁判劇における包拯の特異性」（1959年8月『山口大学文学会誌』第十卷第一号、後に『中国戯曲演劇研究』創文社、昭和48年）参照。

注5：今回は詳述する余裕は無いが、この間の消息は、脚本分析の結果ともよく合致している。各地方劇の包公戯の古脚本を比較検討すると、同じ演目でも、北方の地方劇では、包拯が「官」と「民」の間、あるいは「公」と「私」の間に板挟みになるプロットが付け加えられている例が目立つ。この北方系地方劇脚本の特異性については、いずれ稿を改めて述べることにしたい。

〔包拯臉譜図版掲載書目一覧〕（本稿で書名をあげた資料に限る。本稿登場順）

『中国戯曲通史』（張庚、郭漢城主編・中国戯劇出版社、1992）

『中国戯曲志・天津』（中国ISBN中心、1990）

『京劇臉譜図説』（劉曾復・北京燕山出版社、1990）

『中国戯曲志・黒竜江省』（中国ISBN中心、1994）

- 『中国戯曲志・吉林』（中国 I S B N 中心，1993）
- 『中国戯曲志・河北』（中国 I S B N 中心，1993）
- 『群芳譜』（河南人民出版社，1981）
- 『中国戯曲志・安徽』（中国 I S B N 中心，1993）
- 『中国陝西社火臉譜』（上海人民美術出版社，1990）
- 『中国民間美術全集11（游藝編・面具臉譜卷）』（山東友誼出版社，1993）
- 『中国戯曲志・陝西』（中国 I S B N 中心，1995）
- 『中国戯曲曲芸詞典』（上海辞書出版社，1981）
- 『中国戯曲志・新疆』（中国 I S B N 中心，1995）
- 『中国戯曲志・内蒙古』（中国 I S B N 中心，1994）
- 『山西戯曲臉譜』（山西人民出版社，1990）
- 『中国戯曲劇種大辞典』（上海辞書出版社，1995）
- 『中国戯曲・山西』（中国 I S B N 中心，1990）
- 『中国戯曲志・湖南』（中国 I S B N 中心，1990）
- 『川劇詞典』（中国戯劇出版社，1987）
- 『中国戯曲志・福建』（中国 I S B N 中心，1993）
- 『中国戯曲志・広東』（中国 I S B N 中心，1993）
- 『中国戯曲志・広西』（中国 I S B N 中心，1995）